

対象学年組：第 3 学年 5・6組～ 7・8 組

教科担当者：（5・6 組：土田 （7・8 組：土田 （組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（実教 政経702 『詳述政治・経済』 実教 2025 ズームアップ政治経済資料 ）

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治経済演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・国際政治、国際法、国際連合、現代の国際政治の動向について、現実国際社会の諸事象を通して理解している。 ・貿易と国際収支、国際経済体制、世界金融、地域経済統合、経済協力と任毛ン開発などの意義について、現実国際社会の諸事象を通して理解している。	・民主政治の本質を基に、現代政治国際の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的に起こったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・理解】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	指導事項 ・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力	【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						1
	【知識・理解】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	指導事項 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・国際政治と日本 ・核兵器と軍縮 ・国際政治と日本	【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1

2 学 期	【知識・理解】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどグローバル化する世界経済について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際経済体制の進展や南北問題や地域主義の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由貿易をめぐる現在の課題や世界の経済格差を是正する取り組みについて多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。	指導事項 ・自由貿易の進展 ・国際収支	【知識及び技能】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際経済体制の進展や南北問題の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して，現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	2
	【知識・理解】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどグローバル化する世界経済について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際経済体制の進展や南北問題や地域主義の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由貿易をめぐる現在の課題や世界の経済格差を是正する取り組みについて多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。	指導事項 ・国際経済体制の変化 ・グローバル化と世界金融 ・地域経済統合	【知識及び技能】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際経済体制の進展や南北問題の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して，現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						1
	【知識・理解】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどグローバル化する世界経済について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際経済体制の進展や南北問題や地域主義の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由貿易をめぐる現在の課題や世界の経済格差を是正する取り組みについて多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。	指導事項 ・経済協力と人間開発 ・地球環境問題とエネルギー	【知識及び技能】 ・国際経済の進展，国際収支や為替のしくみ，発展途上国の経済や地域主義の動きなどについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際経済体制の進展や南北問題の諸要因を基に，グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して，現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1

3 学期	問題演習	問題演習	問題演習				
							合計
							42